令和２年度　卒業論文

『Number Web』に掲載される Ｊリーグにおける名言の表現特性

国語表現ゼミナール
指導教官　野浪正隆先生
大阪教育大学教育学部
学校教育教員養成課程　国語教育専攻　小学校コース
162126 中川諒祐
（原稿用紙120枚換算）

目次

序章 研究動機・目的……1

第一章 研究概要

第一節 研究対象 ……2
第二節 研究方法……15

第二章 分析結果・考察

第一節 発言者の立場について……16
第二節 発言者の出身について ……18
第三節 名言がポジティブかネガティブか……20
第四節 名言の内容……24

第三章 結論と今後の課題

第一節 結論……29
第二節 今後の課題……29

終章 終わりに……29

参考文献……30

序章　研究動機・目的

私は大学で四年間体育会の部活に所属していた。4 回生になり、下回生をまとめる立場になったときに、ふと練習中や試合中に監督やコーチ、上回生の言葉でチームの雰囲気や試合の流れが変わることがあったことを思い出した。そこで、私はスポーツ選手の発する言葉に興味を持つようになった。特にプロスポーツ選手の言葉の影響は、所属するチームだけにとどまらず、競技全体や他ジャンルにも影響を与えて、名言といわれることがある。それらの名言を研究することで、私の競技に生かすことができるだけでなく、人生の指針を見出すことができる可能性があると考え、スポーツ選手の名言について研究することにした。

第一章 研究概要

第一節 研究対象

今回の研究では、スポーツ雑誌の web 版『Number Web』で毎日一つ掲載される「今日の名言」の中で、J リーグに分類されている全 198 個の名言を対象にした。J リーグとは、1991 年に創設された日本のプロサッカーリーグのことである。創設時は 10 チームであったが、現在では J1 に 20 チーム、J2 に 22 チーム、J3 に 15 チーム所属しており、合計で 57 チームある。今回の研究対象として J リーグを選んだ理由としては、私がサッカー経験者で他のスポーツに比べてサッカーへの理解が深いことと、競技人口が多く歴史もあることから、特定の選手に偏ることなく多様な選手の名言を分析することができると考えたからである。

以下は今回の研究対象とした名言全 198 個である。順番は『Number Web』に掲載された順である。

32、33 の時、ずっとやってれば何か答えがあるのかなと思ってたけど、何もないもんね。	三浦知良
すぐにひっくり返っていつまでも痛そうに、うめくな、だよ。痛けりゃ、サッカーやるな！痛いもんなんだよサッカーは。	川淵三郎
サッカーより稼げることがあれば、別にサッカーはやめてもいいです。	中田英寿
理想のサッカーがある。でも、そのためには負けてもいいというほどロマンチストじゃありません。	岡田武史
浦和らしい優勝じゃん。ホームで負けて決めるなんて。	福田正博
僕らがよかったのは、 野球や相撲とかと違って簡単に“歴史を変える”って言えたことだと思う。	三浦知良
昔は毎週ディスコに遊びに行ってたもんね。	武田修宏
これから僕は不動のキングと言われるものを作らないといけないんですよ。	三浦知良
もう「ベテラン」じゃない。「プラチナ」にしよう。	三浦知良
日本に何年かいて、ここがすごく好きになった。日本人になって日本代表としてプレーしたいと思っているよ。	エメルソン
スポーツと政治は切り離して考えるべきです。スポーツマンだからこそできる国際交流もある。	ドラガン・ストイコビッチ
驚いたのは、練習が始まる 30 分も前から、みんなグラウンドに集まってきていること。日本人はよく働くと思ったね。	パトリック・エムボマ
僕は愛されてあの国（日本）に行くのです。	イルハン・マンスズ
服っていうのはその人間を表現する一つの手段だと思ってる	中田英寿

んですよ。	
ブラジルの力に耐えるためにチームを武装することは難しい。どのような対策を講じていいのかわからない。	ジーコ
僕には、距離感がないんですよ。神戸に行くのもブラジルに行くのも同じ。明日には着いているんだから。	三浦知良
成り上がろう、ビッグになってやろうみたいな気持ちが自然と湧き出てきたんだと思う。	三浦知良
俺、ヒーローになりたいって思ってるんすね、ずっと。ずっとすね。	大久保嘉人
僕も典型的な日本人の能力なので、そういうサッカーで世界にどれだけ通用するか、自分自身がいちばん確かめてみたい。	山田直輝
チームは自分を映す鏡なんだ。	反町康治
僕の趣味はマフィアの研究だから、サッカーとマフィアの話をしようか。	三浦知良
実は 20 代前半は、朝飯をまったく食べない人だった。ヴェルディが天皇杯を勝ち進んでいるときに、クリスマスパーティに出ちゃって、イチゴショートケーキをホールごともらって帰ってきたことがあったんです。で、次の朝、出かける前に朝飯代わりにそのケーキを丸々一個食べて練習に行ったことがあった。	三浦知良
僕自身は、あの 1 点がこんなに影響力があるとは思っていなかった。	三浦知良
もう随分前から。1 年以上は前だね。	中村俊輔
日本サッカーはいつまでも一般道を走っていちゃいけない。ハイウェイに乗って、早く目的地に向かって行かなければならないんだ。	ドラガン・ストイコビッチ
監督からは、相手より気持ちが上回らなければダメだと要求されます。必死になってプレーをして相手以上の気持ちを出す。監督から精神面でも学ぶことは多い。	青木剛
いま、40 歳を過ぎて、本当の経験の大事さっていうのがわかってきたような気がする。	三浦知良
日本代表に行きたかったら、ヨーロッパに行きたかったら、10～15 点は取れ。	レヴィー・クルピ
今、メラメラきてるんだよね。もう、ぶっ飛ばしてやるって感じ。	松田直樹
いま、横浜 FC で試合に使われないときの悔しさは、ブラジルのときとまったく同じ。26 年たっても全然変わっていないどころか、最近は、この歳になって、その気持ちが余計強くな	三浦知良

っているような気もする。	
我々の仕事は日々の積み重ねで、自分はどうあるべきかを証明していくものだ。自分の力を信じ、つねにポジティブであるように心がける。その作業を、地に足をつけて継続していけるかが大事なんだ。	ミハイロ・ペトロヴィッチ
クラブ全体で戦わないと勝負には勝てない。全員が個人として向上心を持って競争し、試合になったら集団のために結果を出せ。	ジーコ
あっという間の現役生活やったなあ。最後はずっと試合に出て終わりたかったけど、思うように行かないのが自分の人生みたいやわ。	宮本恒靖
ブラジルではお金を稼ぐより実をとる、つまりプロとしてサッカーをやることが大事で、お金なんか後からついてくると思っていたから。とにかく、自分が公式戦に出られることを優先していた。	三浦知良
引退という言葉は好きじゃないんです。自分を型に嵌めてしまう気がするから。	三浦淳宏
年齢は関係なくて、才能なんです。	レヴィー・クルピ
サッカーはお前らがやるものだ。絶対にやらされちゃいけない。やらされるんじゃない。	風間八宏
日本では選手同士が言い争いをすることがあまりにも少ない。	ピエール・リトバルスキー
僕の自慢は'88 年にフラメンゴのジーコと対戦したこと。僕の所属していたコリチーバのホーム、4 万 5000 人入った超満員のスタジアムでの試合は、これまでの自分のサッカー人生の中で誇りであり、宝物だと言える。	三浦知良
自分ではヴェルディイズムを継承してきたつもりだったけど、何も受け継げていなかったのかもしれないですね。もし継承できていたら、J2 に落ちることもなかったと思う。	山田卓也
監督、どこ？	遠藤保仁
今だけ良くてもダメなんです。これをずっと続けないと。来年も、再来年も。	佐藤寿人
今季のガンバはもちろん優勝を第一に考えています。できれば三冠を狙いたい。	遠藤保仁
ベッカムがヴェルディに入っても、いきなりいいクロスを上げる場面は出てこない。	都並敏史
一番大事なのは、試合に出て活躍したいという気持ち。そのためだけにやっているんです。お金のためじゃない。	三浦知良

お前たちの団結力で、この危機を乗り越えてみろ。背負うものの大きさや人の命の重さまで考えてサッカーをやるんだ。神様はそんなふうに言っている気がするんですよ。	手倉森誠
代表のことも含めて、過去味わったいろんな悔しさを乗り越えられたことが、自信になってます。	長谷部誠
ちっちゃな穴があったら全部零れちゃうじゃないですか、僕はそれを地道に埋めていくことができる。	鈴木啓太
俺たちはもう一度、新たな歴史を創らなければならない。いまは弱いかもしれないが、お前らが歴史を創らなければいけないんだ。それだけの力が、お前らにはある。そして、誇りを持っていいだけのクラブにいるんだ。	長谷川健太
勝たなきゃいけないってことはあんまり考えないで、フツーにやれれば、いちばんいいですね。	山田暢久
才能が花開いてますねとか言われるけど、全然そうは思わへん。今、花開いたって言うてもパチンコのチューリップと同じで、すぐに閉まるやろ（笑）。	播戸竜二
シュートいうのは、ボールひとつ通れる幅があったらええわけやから。	釜本邦茂
レアル・マドリーのアジアツアー。あれは興行ですよ	岡田武史
早く一人になって泣きてぇ。	阿部勇樹
サッカーそのものが速くなって、戦術が複雑になっている。だから僕も進化していかないと置いていかれます。進化していくための自分との戦いがずっと続くと思います。	田中マルクス闘莉王
ブラジル人選手にとってサッカーは単なる仕事ではなく喜びでもある。	ロブソン・ポンテ
サッカーをするにあたって、誰でも普通にやるべきことが僕にはできてなかったことが徳島に行ってよくわかりました。	柿谷曜一朗
J リーグができる前は、日本代表のことなんか気づかなくていいよ、俺が苦しくなるからと思っていたんだけど、できてからは、みんなが代表を目指すようになってレベルが上がった。	都並敏史
大阪でやってて思うのは、マスコミの扱い方。やっぱり報道も阪神タイガース中心じゃないですか。ファーストステージでセレッソが優勝しそうなのに阪神のほうが扱いが大きかった。マスコミがもっと取り上げてくれたら、大阪のサッカーも盛り上がると思うんですけど。そこが物足りない。	宮本恒靖
すべては、スコアで表現される。	トニーニョ・セレーゾ
試合の途中に、突然、自分の中から「気にするな」って声が聞こえてきて、すべてが変わったんです。	小野伸二

自信はありますね。今は本当にある。だから最後のサプライズとして呼んでほしい。	大久保嘉人
今は辛抱やろ。無理してもチームのためにも自分のためにもならへん。辛抱すれば、またええ時がくる。いつもそうやったしな。	播戸竜二
たまに、練習でできないようなことが試合でできたりするから、ビックリするんですよ。スタジアムの雰囲気とか、真剣勝負のテンションがなせる業、なのかな。だから、サッカーはおもしろい。やめられないですね。	中村憲剛
自分は絶対に決められるという自信があるから、自分の方にボールが転がってこいといつも念じている。自分の得点で絶対に勝ちたい。そういった強い欲求を持つことがストライカーには必要なんだ。	ルーカス・セベリーノ
ホントにサッカーが好きなのかどうか、オレにも分からないんだよ。	城彰二
今の日本人はサーカスの動物みたい。状況判断が悪い。確かにディシプリン（規律）はいいけれど、頭を使わないと。サッカーは目の前の絵がどんどん変わる、次の瞬間には違うことが起こるんだから。俺はこの人をマーク、だから責任はこの人だけ、じゃ困る。ボールがきて、見て、判断して、マークする相手を変えてもいいじゃないですか。言わないとやらない、言われたことしかやらない。それはサーカスの動物。	ヴィタヤ・ラオハクル
多くの監督が練習の 80%を、相手ボールのときの練習にあてている。だが、私は違う。マイボールの時の練習パターンが無数にある。	フォルカー・フィンケ
リーダーと呼ばれる人間の多くは、自分の考えを元に人を動かしていこうとする。しかし、私のリーダーシップのとり方は、みんなの意見を汲み上げて、それをどういう風にやればいちばん良いのか、方向づけるという方法だ。トップダウンで押し付けるのではなく、選手に考える余地を与えて、こうやった方が良いのではないかとサポートする。選手間でお互いに話し合うことで、気持ちを高めることができる。	ペリクレス・シャムスカ
同じような戦術的ミスを犯すということは、選手がインテリジェンスを持っていないということになるからだ。私はテクニック面のミスに関してはしょうがないといつも言っている。この種のミスは、世界トップクラスの選手でも犯すことがある。でも、戦術的なミスを犯すということは、コレクティブにプレーすることに対する意識が低いことを意味する。つまりチーム全体のことを考えていないということなんだ。	ドラガン・ストイコビッチ

人生で一番悩みました。	大久保嘉人
勝たないと、ここにいるみんなで昇格を喜べない。不甲斐ない戦いをするんじゃないぞ。	反町康治
いい上司になりたかったら、いい部下を育てる。いい部下を育てるためには、いろんな意味で動いてもらわなくてはいけない。そこでどうするかというとコミュニケーションや言葉という部分が必要になる。	高木琢也
新しいガンバのスタートになる。	宇佐美貴史
47 歳の今も、20 歳の時と情熱は全く変わっていない。ただ、あの頃のひとつひとつの経験は、本当に重かったし、今の自分を作った礎になっていることは間違いない。	三浦知良
僕は常に全力を尽くしてやるのが自分のいいところだと思っているんですよ。強い気持ちを失ったら、闘莉王が闘莉王でなくなる。気持ちがなくなったら、それはサッカーをやめるときだと思います。それがなかったら、自分の色が一つもなくなってしまうから。	田中マルクス闘莉王
日本は私にとって未知の国だったが、サッカーは世界共通だ。それに選手というのは、いや人間というのはみな、より成長できるものだというのが、私の考えだ。	イビチャ・オシム
アジア杯は自分の弱さを知った大会だったし、結果が全てだと改めて再確認できた。初戦のパレスチナ戦では萎縮して自分を出せなかった。もうああはなりたくない。あの緊張感の中で自分を出せる強さを身に付けたい。	武藤嘉紀
俺と同じようなキャリアを積める人は、今後ほぼ出て来ないと思う。19 歳でバイエルンに行って、ドイツで 2 年間プレーして、J2 から這い上がるっていうね	宇佐美貴史
海外に行けなかったからといってモチベーションが落ちることはない。この環境でも成長できることがある。	柴崎岳
30 歳をすぎてから、俄然楽しくなってきましたね。あと、自分の中にどうしたら勝てるんだろうかっていう、監督目線みたいなのが出てきてるんですよね。	遠藤保仁
プロ選手にとって大切なのは、求められること。その中で個人としてうまくなる、チームとして勝つという目標があって、舞台がどこでもそれは変わらないから。	稲本潤一
知識をひけらかすだけじゃ選手には通じないと思うんです。借り物の言葉じゃすぐに見抜かれる。	長谷川健太
アイデアがともなったフットボールは、それそのものが“言葉”なんだよ。日本人でも、中国人でも、アメリカ人でも、みんないっしょにプレーすれば、それがコミュニケーションだ。	フォルカー・フィンケ

FW にとっては結果がすべて。俺は点を取って結果を出せたことで自信を持てた。そういう自信は、どこに行っても生かされると思う。	高原直泰
1 日の伸び幅は少しでもいい。それが 10 年も積み重なれば、ものすごい伸びになる。	秋田豊
ベンチから指示を送るのも好きじゃないし、人にサッカー教えるのも別に好きじゃないし、自分がサッカーやっていることが一番好きだから、それを続けたいという気持ちは大きい。	三浦知良
俺が一番差を感じたのは、ペナルティボックス内のいろんな精度。シュートにしても守備にしてもね。	遠藤保仁
そう思わない人もいるかもしれないが、私は、今のサンフレッチェは私が作ったチームだと思っている。	ミハイロ・ペトロヴィッチ
2 ステージ制とか考えたら切りがないので、順位すら忘れるくらいに、目の前の試合にぶつかっていければいいなと思います。	宇佐美貴史
子供もできたし、嫁さんも養わなあかんからね。そのために走らなあかんから走っている。	加地亮
理想としては、点を取ること以外の仕事は 50%ぐらいに抑えて、前に出る力を取っておくべきなんだ。	三浦知良
俺自身、帰って活躍できなければ叩かれるだろうし、結果がそれを払拭する唯一の方法だということは知っている。	前園真聖
チャンピオンになると腹がたまるんですよ。だから、その満腹状態の選手にどうやって次の“欲”を出させるか、それがポイントになる。	桑原隆
いつも僕の頭にあったのは、プロ選手になって家族を楽にしたいということだった。	三都主アレサンドロ
まだまだ、勉強ですよ。もっと、しゃべりがうまければ、いろんな人を助けられるかもしれないのにって思うからね。	小笠原満男
“ちょっと様子を見てから”という考え方は、ドイツにはありません。いつも勝って、1 位になろうとするチームを作るのがドイツ式です。	ピエール・リトバルスキー
J リーグ全体で言えばスタイルの幅が狭いのかなって感じはします。	遠藤保仁
この年齢になると、もう未知の部分だらけなんです。	三浦知良
性格は変わんないけど、行動は意識で変えられる。よく「俺はこうだ」って言う人がいるけど、必要であれば意識することによってそれは変えることができるんです。	鈴木政一
この先、オランダに行き、皆さんの期待に応えられるかどうかは、やってみなければわかりません。しかし、この僕の背中	小野伸二

にある「世界で輝け伸二」という旗を見て、僕はやっていけるという自信がつきました。	
実は僕の思い入れがある番号はただひとつ、11 番なんです。	浅野拓磨
浦和レッズに関わる全ての人の笑っている顔を見れたら、それだけでいい、かな。	阿部勇樹
僕は、日本で成功するためには、日本人の言うことに耳を傾け、冷静に、我慢強くなることも大切だと思っています。	ウイルソン
今の若い選手は技術に頼りすぎて、予測がない。予測する習慣があれば、もっと点を取れるのに。	大久保嘉人
わがままかもしれませんが、結局、僕はどこでプレーしていても、心の底ではずっとセレッソでいたかったんです。	柿谷曜一朗
J リーグ開幕以前は、オリンピックとかワールドカップというのは夢だよね。高校選手権に出たいとか、日本代表に入りたいとか、漠然とした目標しか描けなかった。	西野朗
今、J リーグが早急に手を打たないといけない状況下にあることは間違いありません。すでに血が流れていれば、根本的な問題の解決の前に、とりあえず止血する必要がある。そのための 2 ステージ制であり、ポストシーズンなのです。苦渋の決断でした。	大東和美
アクションサッカーというスタイルを変えるつもりはありません。僕が守っても面白くないでしょ。	名波浩
チームの雰囲気作りとかバランスについては僕らベテランに任せて、思い切ってやってほしいね。	岩政大樹
結果を残すことでしか、僕からいったん離れたサポーターの人たちに、もう一度振り向いてもらうことはできないと思ってますから。	柿谷曜一朗
勝ってきた歴史を、俺は間違いなく下の選手に伝えないといけない。	小笠原満男
オシム監督がなんとかなると言えば、そんな気がしてくる。洗脳されてます（笑）。	巻誠一郎
辞めるんなら自分の意思で、限界までやった後に、自分の判断でゴールしたい。そうじゃないとなんか後悔しちゃう気がして。	中澤佑二
世界のサッカーが進歩していく中で、日本では「レッズのサッカーがいいよね」と言われるようになる、その道の途中なんだと僕は思っているし、そういうサッカーを作っていきたい。	阿部勇樹
ACL もＪリーグもすべてのタイトルに絡んでいかなきゃいけない。	遠藤保仁

ついこないだまで同じ選手で JSL でやってたのに、J リーグってだけでこんなお客さんが入るのかよって。でも、どういう経緯であれ、凄く幸せなことだった。たくさんのお客さんの前でサッカーできるのはね。	土田尚史
簡単に手放してはいけないもの。お金をたくさん積まれても、譲ってはいけないもの。かけがえのない自分の人生を賭けてやってきた、一番得意なもの。僕にとってはそれはサッカーだったから、ただただ続けてきた。	三浦知良
ヨーロッパで学んだものを、自分が全盛期で動けるうちに、日本のファンに見せたい。楽しみで仕方ないんです、またセレッソのユニフォームを着て、J リーグでプレーするのが。	清武弘嗣
このチームは勝負強いって言われてるかもしれないけど、強いほうが勝つんじゃない。勝ったほうが強いんだ。びびるな。びびっているヤツがいるなら、俺が試合に出たいぐらいだ。	柳沢敦
日本人を表す言葉は規律、ハードワーク、リスペクト、それに清潔で整然としている、というところかな。	ルーカス・ポドルスキ
30 歳前なら練習は常に自分に応えてくれるわけです。やったらやった分だけ応えてくれる。なのに 30 歳を境にして、今度は練習が自分を裏切り出すんだ。いくら努力しても、今度は練習が嘘をつく。	三浦知良
何もないところから決断は生まれない。蓄積してきたものが無心によってつながっていく。	岡田武史
タイトルを獲ることによって、鹿島が変わる予感もあります。タイトルを獲れば、「もう一度獲りたい」と欲が出てくるから。	小笠原満男
協会に依存するのではなく、サッカーに携わる人間一人ひとりが責任感を持てばクラブから国のサッカーを変えて行ける可能性がある。	岡田武史
これまで自分がやってきたことが、走馬灯のように駆け巡って……。	中村憲剛
悔しい思いをするたびに一緒に泣いてくれて乗り越えてくれた奥さんに、感謝の気持ちを伝えたいです。ありがとう！	小林悠
以前の俺ならシャルケを出る時点で直接鹿島に帰ってると思う。でも、ヨーロッパで粘ろうって思えたのはシャルケのおかげ。シャルケで気持ちが鍛えられた感じかな。	内田篤人
監督、コーチ、選手、スタッフみんなで一緒にチームをつくっていこうぜっていう雰囲気じゃないと、サッカーは面白くない。	名波浩
浦和以外のユニフォームを着ることはない。	福田正博
ぼくはサッカーをプロ化しようなんてぜんぜん思ってなかっ	川淵三郎

たんですよ。反対に、そんなことできっこないと思っていた。	
熱い気持ちを持って戦えば、優勝できるかもしれない。それが大事だと思う。優勝は形。もう一度ゼロから。それが俺らにとって一番いい薬かもしれない。	田中マルクス闘莉王
頑張り続けたら必ずいいことが待っているというのが、僕のなかにはあるんです。	那須大亮
日本の選手は、試合で練習とは違う状況に陥ったとき、急に反応できないことがある。そこが物足りないね。もっと自由に動かないと。	パトリック・エムボマ
褒め言葉は自分をだめにするから好きではない。	中山雅史
監督は先生でもないし、上司でもない。自分の考えがあったら、それをそのまま言っていた。	三浦知良
イニエスタは今、本当にいい時期に来ているように感じる。37 歳の自分からしても、本当にいい教材。	中村俊輔
みんなが頑張った分だけ会社の経営資料の中にきちっと出る。浦和レッズをそういうクラブにしたかった。	犬飼基昭
自分がヴィッセル神戸に来た意味は、経験を伝え、活かしてもらうところにもあるだろう。	ルーカス・ポドルスキ
J リーグに関しては、正直に言って良い意味で驚いた。日本人選手は能力的に高いし、細かなテクニックもある。ドイツ人みたいな屈強な体はもっていないし、なんとなくフィジカルは自分に似ているとも思う。	アンドレス・イニエスタ
夢はいつかクラブワールドカップでヴィッセル神戸がバルセロナと対決することですね。そして勝つ。そこまで言い切りましょう（笑)。	三木谷浩史
5 万人のサポーターの前で、ミスしても平気な顔をして自信を失わずにやるってことが浦和の選手には求められてるんだよ。	福田正博
苦しい時、誰かが誰かを助け、みんながみんなのために頑張る。言うのは簡単やけど、簡単にやれるもんやない。	岡田武史
いまが「中村史上最高」ですよ。	中村憲剛
いつかは監督をやりたい。勉強して、下積みもして、経験を積んで、いつか必ず。	川口能活
何気なくやっている個人練習から、その選手の本質って見えてきますから。	宮本恒靖
最近さ、昔の野茂さんの気持ちが分かるんだ。この交渉劇がいつの日か、笑い話になる日が来ればいいと……。	前園真聖

ひとりひとりがスーパーではない。長所があれば、欠点もある。短所をチームメイトが補い合って、カバーをしていく。それが理想の形だと思っている。	オズワルド・オリヴェイラ
かつては1年のうち、360日はジーコに怒られていた。でも、いまは問い詰められても「これはあなたに教わったことだ」と胸を張って口にできる。	鈴木満
毎日同じことを続けること、コツコツとやっていればいいこともあるということが、多くの人々の気持ちとつながったのかな。	三浦知良
6点も取られるともう恥ずかしいですよ。早く終わってくれと思いますもん。でも、これが自分の仕事。	楢崎正剛
僕としては、カズさんと一緒に試合に出て、いいパスを出してカズさんがゴールを決めるというイメージでやっています。	松井大輔
われわれの信条は実直にサッカーと向き合う姿勢。言わば「ひたむきさ」にある。松本山雅のファン・サポーターも、そこを応援してくれている。	反町康治
個を極めるって、天井がない。無限なんですよ。	中村憲剛
やっぱりサッカーをやっている自分が一番好きだなって。	小野伸二
サッカーは1人でやるスポーツではない。11人でやることで生き長らえるヒントがある。	中村俊輔
みんなが僕の動きを見てくれている。パスを出してくれればゴールを決める自信がある。	伊藤翔
悪いが今日はサッカーしなくていい。ハイエナのようにビスマルクにつきまとってくれ。	ジーコ
きっと100人いたら99人の選手はアーセナルに行くかもしれない。もちろんあなたやアーセナルをリスペクトしている。でも私は誰よりも家族を尊重したい。	ドラガン・ストイコビッチ
今のJリーグを見ても僕の方がうまいなと思うから。	前園真聖
高校時代の映像、練習風景も全部撮っておきたかったですね。僕のイマジネーションのすべてがそこにあったと思います。	小野伸二
学校の授業で柔道をやって軽量級で一番になったこともあったかな。	中村俊輔
J1に昇格するチームを目指しているんじゃない。J1で安定した戦いができるチームになるための、その準備をしているんです。	手倉森誠
強い相手と戦っても楽しんで自分の思い描くプレーができる選手になりたいです。そしてチームを勝たせたい。	中島翔哉
僕にとって後半15分から40分くらいが一番楽しいし、面白	遠藤保仁

い。	
家の近所にネットのある公園を見つけた。これで好きな時にシュート練習ができる。	中島翔哉
「半端ない」はもう「勇也の言葉」だと思っています。勇也は本当に半端ない。	大迫希
悪く言えば、サッカーを賢くやらなくなっている。良く言えば“俺が俺が”が正解になりつつある。	遠藤保仁
もっとつないでくれていい。積極的なミスなら構わない。	トルステン・フィンク
バテ切ったところで最後に 3－0 にしてやればいいんだ。	永井秀樹
「できる限り我慢して使ってください。外国人でもきちんと指導してください」とお願いしています。	三上大勝
相手がスライディングしてくるなと思ったら、そこでかわす。シュートコースが見えたら、そこで打つ。	仲川輝人
直接フリーキックは最低でも 1 回は決めたいというのもある。	中村俊輔
願掛けみたいなもので、ひざが良くなるようにって。	仲川輝人
タケだけ特別扱いはできない。チームスポーツだから。	長谷川健太
彼にとって、味方のトラップミスも、味方が受けやすいところにパスを出せなかった自分のミスなんです。	宮崎義正
「成功への近道はない」。努力を続ける中で、自分で見つけた言葉です。	チャナティップ
17、18 歳になったとき、然るべきコンセプトが体に染みついているか。日本のサッカーに足りないのはそこだと思うんだ。	フェルナンド・トーレス
オファーがない以上、それが自分への評価。逆にスッキリしています。	小椋祥平
レドミがいなかったら、酒井宏樹はまだ J リーグでプレーしたままだったかもしれないよ。	水沼貴史
日本で得られた、信頼関係。それはお金では買えない。	田中マルクス闘莉王
天国か地獄かの舞台で、僕自身はもっと強くなるはずですから。	昌子源
自分が楽しくないのに人を楽しませられるわけがないじゃないですか。	小野伸二
（オシムさんは）68m×105m というピッチの規格のように、何があっても変わらない真理のような存在。	江尻篤彦
ゴールは大事だけど、それよりも大事なことは、そこに向かって努力していくというプロセスです。	三浦知良
人生は山あり谷あり。下がった時に、どう考え、どう行動するか。僕はいつでも挑戦者の立場ですから。	中山雅史
小学生のときの遠足の前日みたいに、興奮してよく眠れなか	柿谷曜一朗

った。	
相手の逆手を取るようなプレーがないと面白くない。	遠藤保仁
一人ひとりが自分の“勝ち筋”を変えていける。	中村憲剛
手に比べると足は開発し切れていない。足でいかにおもしろいことができるか。	風間八宏
身体じゃなくて頭が疲れているから、ご飯に何を食べに行くかも考えたくない状態でした（笑）。	佐藤勇人
小学生だった自分にとって、ヴェルディはキラキラと輝く銀河系だった。	鎌田次郎
ルーキーだった頃、伸二さんは雲の上の存在でした。でも2006年は伸二さんのことをライバルと考え、負けないぞと思えるようになっていたんです。	鈴木啓太
闘莉王選手がオーバーラップしてきたときは、4WDの車がこっちに向かって走ってくるくらいの迫力。	千葉和彦
あのポジションのことは熟知している。だから一切の妥協はしない。	ネルシーニョ
「ここで普段から練習できる選手になりたい」ってめっちゃ思いましたね。	宇佐美貴史
そもそも、きれいに勝とうとは思っていない。	手倉森誠
PKを止められるときは、だいたい迷いがある。だからPKを成功させるには、迷いをなくせばいい。	豊田陽平

第二節 研究方法

今回、スポーツ選手の名言の表現特性を研究するにあたって６つの項目を用いて分析を行った。６つの分析項目は以下の通りである。

1、名言を発した人が選手か監督かその他か。
その他には、コーチ、ＯＢ、球団オーナー、Ｊリーグチェアマンを含めた。
２、名言を発した人が日本人か外国人なのか。
日本と出身地の二つの国籍を有する場合は出身地を優先し外国人と分類した。
３、言葉の方向。
特定の人に向けられて発せられている場合は「相手」、特定されていない場合は「一般」とする。
４、名言の内容がポジティブかネガティブか。
ポジティブ→前向きな発言。勝利や成長を求める発言。
ネガティブ→後ろ向きな発言。自身もしくは他者を否定するような発言。
両方→ネガティブな発言をしつつも、これからの成長を求めるなど前向きさを兼ね備えている発言。
どちらとも言えない→発言者の心情が読み取れない発言。
５、内容の意味。
「他人を奮起させるもの」「意気込み」「意見」「心構え」「感想」「思い出」の６つに分けて分類した。
６、プレー面に関する名言か、精神面に関する名言か。

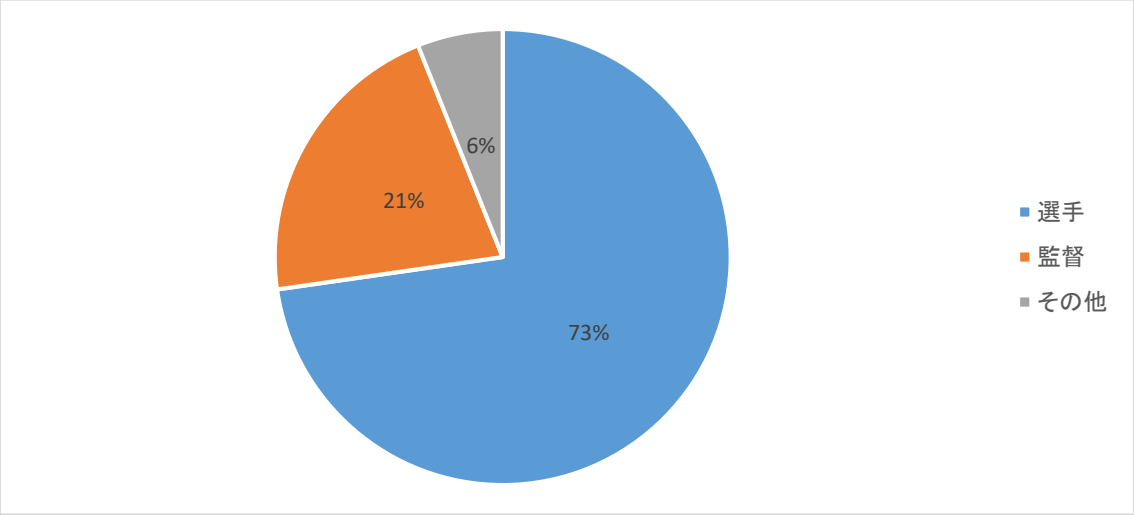
以上 6 項目と『Number Web』の掲載年月日と備考を Excel で表として以下のようにまとめた。

名言	発言者	立場	日本人/外国人	方向	ポジティブ/ネガティブ	内容	プレー面/精神面	掲載年月日	備考
32、33の時、ずっとやってれば何か答えがあるのか	三浦知良	選手	日本人	一般	ネガティブ	感想	プレー面	2009/8/10	カズはどこ
すぐにひっくり返っていつまでも痛そうに、うめくな、	川淵三郎	その他	日本人	一般	ネガティブ	意見	両方	2009/9/3	やたらと転
サッカーより稼げることがあれば、別にサッカーはや	中田英寿	選手	日本人	一般	ネガティブ	意見	どちらでもない	2009/9/5	初期のイン
理想のサッカーがある。でも、そのためには負けても	岡田武史	監督	日本人	一般	ポジティブ	心構え	プレー面	2009/11/16	浦和レッズ
浦和らしい優勝じゃん。ホームで負けて決めるなん	福田正博	選手	日本人	一般	どちらでもない	感想	どちらでもない	2009/11/20	悲願のリー
僕らがよかったのは、野球や相撲とかと違って簡単	三浦知良	選手	日本人	一般	ポジティブ	感想	どちらでもない	2009/11/28	通算400号
昔は毎週ディスコに遊びに行ってたもんね。	武田修宏	選手	日本人	一般	どちらでもない	思い出	どちらでもない	2010/1/27	武田という
これから僕は不動のキングと言われるものを作らな	三浦知良	選手	日本人	一般	ポジティブ	心構え	どちらでもない	2010/3/6	カズは30歳
もう「ベテラン」じゃない。「プラチナ」にしよう。	三浦知良	選手	日本人	一般	どちらでもない	意見	どちらでもない	2010/3/13	35歳なら

第二章 分析結果・考察

第一節 発言者の立場について

分析した 198 個の名言について、発言者の立場の割合を円グラフにまとめると以下のようになった。



取り上げられている名言は選手が発言したものが多かった。この結果は、選手と監督の人数の差が直結しているので予想していた通りであった。

次に、発言者の立場ごとの分析結果を表にまとめたものを以下に記す。

立場	ポジティブ	ネガティブ	両方	どちらでもない	他人を奮起させる	意気込み	意見	心構え	感想	思い出	プレー面	精神面	両方	どちらでもない
選手	48%	12%	8%	32%	0%	10%	54%	11%	23%	2%	35%	19%	10%	36%
監督	37%	9%	3%	51%	19%	0%	67%	12%	2%	0%	37%	19%	9%	35%
その他	33%	25%	0%	42%	8%	17%	67%	0%	8%	0%	42%	8%	8%	42%

表を見ると、名言がポジティブかネガティブかについては、選手も監督もポジティブの方が多い。また、その中で選手はポジティブな名言が一番多いのに対して、監督はどちらでもない名言が一番多くなっている。これは、選手は自身の目標や意気込みに関する名言を発することが多く、それに対して監督はチームの現状や事実を述べていたり、指導論を述べていたりするものが多いためである。

名言の内容については、多い順に選手が「意見」「感想」「心構え」「意気込み」「思い出」で、「他人を奮起させるもの」が 0 となっており、監督が「意見」「他人を奮起させるもの」「心構え」「感想」で、「意気込み」と「思い出」が 0 となっている。名言がポジティブかネガティブかという項目に比べて、より発言者の立場の違いによる差が表れた。サッカーはチームスポーツなので、選手間での内容が「他人を奮起させるもの」の名言があると予測していたが 0 という結果になったのは意外だった。原因として、選手間での励ましあいなどは

試合中にフィールドで行われるものであり、選手ごとに差異があらわれにくいからであると考えた。それに対して監督の内容が「他人を奮起させるもの」である名言が多いのは、監督という立場が選手を鼓舞し勝利に導かせるものであるのに加えて、試合前やハーフタイム中での話を監督が行うからであると考えられる。また、監督の内容が「意気込み」である名言が 0 になったのは、チームを長期的に強くしていく計画や考え方などが多かったためだと考えられる。内容が「思い出」である名言は選手の方でも 3 つしかなかったため、選手に比べて取り扱われている数の少ない監督の方で 0 になったのは仕方のないことであると考えられる。

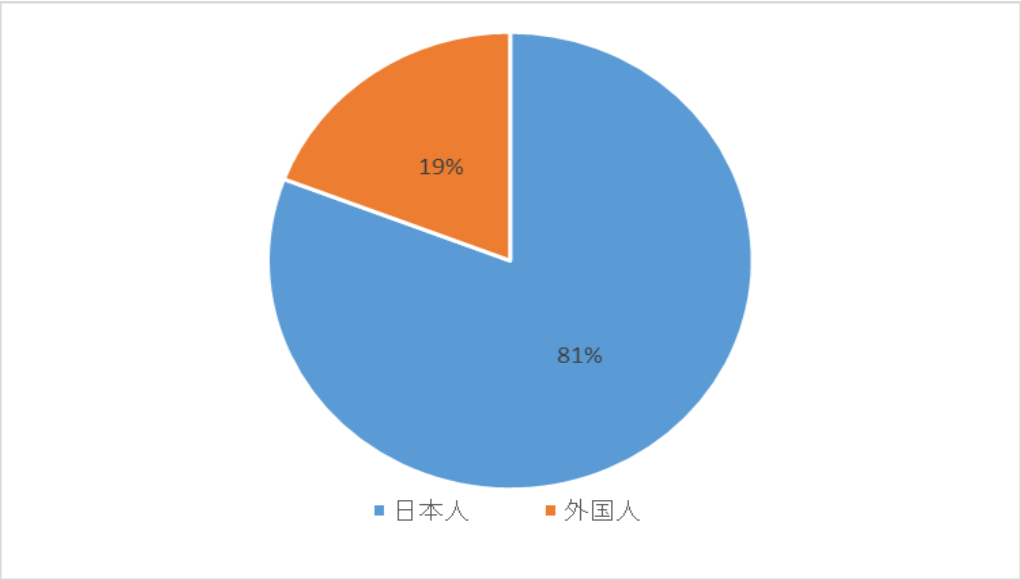
プレー面、精神面では選手と監督間で大きな差異は見られなかった。その他でどちらでもないが多いのは、チームの経営者や J リーグのチェアマンの名言が含まれているからである。以下にその例を二つ挙げる。

みんなが頑張った分だけ会社の経営資料の中にきちっと出る。浦和レッズをそういうクラブにしたかった。 犬飼基昭（浦和レッズ社長）

ぼくはサッカーをプロ化しようなんてぜんぜん思ってなかったんですよ。反対に、そんなことできっこないと思っていた。 川淵三郎（Jリーグチェアマン）

第二節　発言者の出身について

分析した 198 個の名言について、発言者の出身の割合を円グラフにまとめると以下のようになった。



J リーグというのもあり、日本人が 8 割を超える結果となった。

次に、発言者の出身ごとの分析結果を表にまとめたものを以下に記す。

	ポジティブ	ネガティブ	両方	どちらでもない	他人を奮起させる	意気込み	意見	心構え	感想	思い出	プレー面	精神面	両方	どちらでもない
日本人	44%	12%	8%	36%	3%	10%	55%	11%	19%	2%	36%	17%	10%	37%
外国人	47%	13%	0%	40%	11%	0%	68%	11%	10%	0%	37%	24%	8%	31%

日本人と外国人を比べた時に、日本人の方がネガティブな名言が多く、外国人の方がポジティブな名言が多いと予想していたが、そこまで大きな差はなかった。しかし、同じネガティブに分類される名言でも、日本人は自身についてのネガティブな名言が多いのに対して、外国人は、日本人選手や日本サッカーについてのネガティブな名言が多いという差があった。以下に外国人のネガティブな名言を 2 つ挙げる。

今の日本人はサーカスの動物みたい。状況判断が悪い。確かにディシプリン（規律）はいいけれど、頭を使わないと。サッカーは目の前の絵がどんどん変わる、次の瞬間には違うことが起こるんだから。俺はこの人をマーク、だから責任はこの人だけ、じゃ困る。ボールがきて、見て、判断して、マークする相手を変えてもいいじゃないですか。言わないとやらない、言われたことしかやらない。それはサーカスの動物。　ヴィタヤ・ラ

オハクル

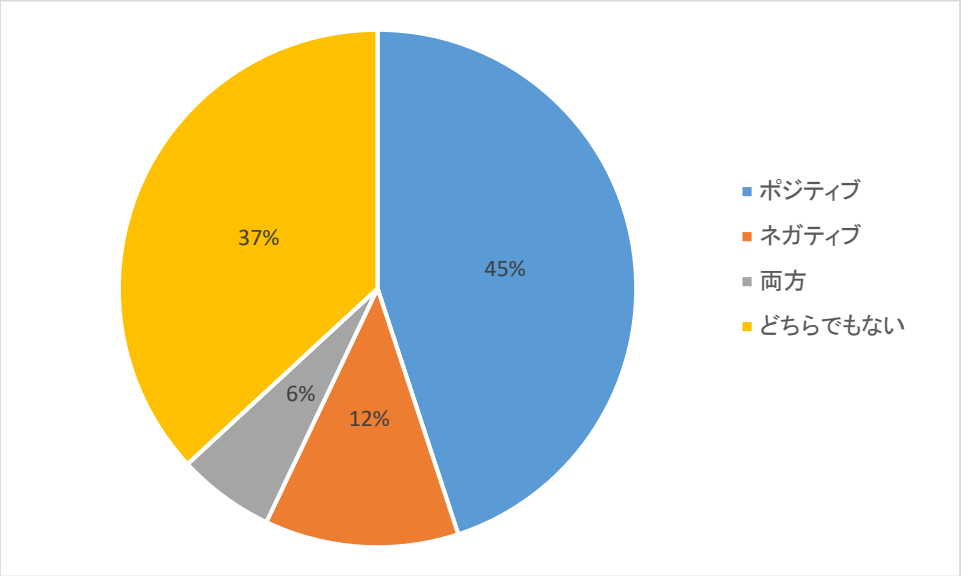
日本では選手同士が言い争いをすることがあまりにも少ない。ピエール・リトバルスキー

両方とも外国人の監督の名言であり、ヴィタヤ・ラオハクル監督は自分で考えてプレーせずにただ言われたことだけをこなす日本人選手を批判し、ピエール・リトバルスキー監督は自己主張せず事なかれ主義をとる日本人選手を批判した。

また、名言の内容について、日本人は多い順に、「意見」「感想」「心構え」「意気込み」「他人を奮起させるもの」「思い出」であり、外国人は、「意見」「心構え」「他人を奮起させるもの」「感想」で、「意気込み」と「思い出」が 0 になっている。外国人の「意気込み」が 0 である理由として、外国のチームの方がレベルが高いため、外国人は最盛期に外国でプレーし、最盛期をすぎてから J リーグで選手としてプレーしたり監督として指揮を執ったりするからだと考えられる。

第三節 名言がポジティブかネガティブか

本節では、名言の内容がポジティブなものかネガティブなものかに着目して行った分析結果について述べていく。研究対象の 198 個の名言のポジティブなものかネガティブなものかの内訳は以下の通りである。



予想していた通り、ポジティブな名言が 45%と最も多かった。ポジティブな名言の例を以下に挙げる。

・今、メラメラきてるんだよね。もう、ぶっ飛ばしてやるって感じ。 松田直樹

松田直樹は、入団してから 16 年間、横浜 F・マリノスを支えてきたが、2010 年 11 月に戦力外通告を受ける。そこで松田直樹が移籍先に選んだのは JFL の松本山雅 FC だった。松田直樹は、海外のリーグからも声がかかっていたが、収入よりも松本山雅 FC を J2 に昇格させるという夢を選んだ。移籍先の松本山雅 FC を J2 に昇格させるためにやる気に燃えているこの名言は、明らかにポジティブな名言である。

・今だけ良くてもダメなんです。これをずっと続けないと。来年も、再来年も。 佐藤寿人

2012 年まで、佐藤寿人が所属するサンフレッチェ広島は J リーグ創設時に参加した“オリジナル 10”のチームで唯一、3 大タイトル（J リーグ、ナビスコカップ、天皇杯）を一度

も獲得していなかった。2012 年のシーズンでサンフレッチェ広島は、第 33 節セレッソ大阪戦での勝利で悲願の初タイトルを獲得。チームを牽引するストライカーの佐藤寿人は、今季史上 10 人目となる J1 通算 100 ゴールを達成し、得点王レースを独走。しかし、好調の最中にあっても、佐藤寿人は自分を戒めることを忘れず、この名言を述べた。タイトルを獲得し、また個人としても得点王を獲得したにもかかわらず気を緩めない姿勢からは、サッカーで勝利や活躍を求める前向きな姿勢を読み取ることができる。

以上のように、ただポジティブなことを言っているだけでなく、戦力外通告を受けてからそれでも新しい目標について述べていたり、記録を残したとしても満足せずより高みを目指したりするなどプロ意識を感じさせる名言が多かった。つねに目標を高く設定し、勝利や活躍を求めるプロ意識に感動を覚えると考えられる。

次に全体の 12%を占めたネガティブな名言の例を挙げる。

・自分ではヴェルディイズムを継承してきたつもりだったけど、何も受け継げていなかったのかもしれないですね。もし継承できていたら、J2 に落ちることもなかったと思う。 山田卓也

J リーグ創設に参加した「オリジナル 10」であり、前身の読売サッカークラブ時代から日本サッカー界の中心にいた名門・東京ヴェルディ 1969 が 2005 年に J2 に降格した。9 年間在籍し、黄金時代を知る主将の山田卓也は、「もし戻れるのなら、入団の時に戻りたい。そのときにこのクラブが何を考え、何をしようとしているのかを見つめ、提言しながらともに歩んでいけたらと思う」と、悔しさを噛みしめながら苦しい胸の内を吐露した。2008 年に J1 再昇格を果たしたが、翌シーズンにはふたたび J2 に降格した。自身の力不足に触れ、その結果 J2 降格という結果になったことに触れており、明らかにネガティブな名言である。黄金世代を知っているだけに悔しさも人一倍だったことがわかる。

・俺が一番差を感じたのは、ペナルティボックス内のいろんな精度。シュートにしても守備にしてもね。 遠藤保仁

2008 年のクラブ W 杯準決勝で、ガンバ大阪はマンチェスター・ユナイテッドと対戦したが、結果は 3－5 で敗戦。遠藤保仁にとって、ガンバ大阪に足りない部分はペナルティボックスでの精度だった。それは日本サッカーに足りない部分と言い換えることもできるかもしれない。日本サッカーの問題点を端的に表しているネガティブな名言である。

以上の二つがネガティブな名言の例である。プロとして高い意識をもってプレーしていても思うようにいかないという苦悩、もしくは目指すところが高いからこそ起こる苦悩に人々は心を動かされるのであろう。

次に 6%と、最も少なかったポジティブとネガティブの両方を備える名言の例を挙げる。

オファーがない以上、それが自分への評価。逆にスッキリしています。 小椋祥平

小椋祥平は 2004 年に J2 の水戸ホーリーホックに入団。2016 年にヴァンフォーレ甲府に加入し 2019 年にはチーム最多タイの 41 試合に出場したものの、契約非更新。その後オファーがなかったため、現役を引退した。オファーがなく現役は引退したものの、現実を受け止め第二の人生を見つめているところにネガティブとポジティブが両立されている。

今は辛抱やろ。無理してもチームのためにも自分のためにもならへん。辛抱すれば、またええ時がくる。いつもそうやったしな。 播戸竜二

播戸竜二は、2005 年にヴィッセル神戸で J2 陥落を経験し、移籍したガンバ大阪でもシーズン終盤の大事な局面でケガをして苦しんだ。苦しい経験をしてもあきらめることなく、チームと自分のことを考えて機会をうかがっているところにネガティブとポジティブが両立されている。

ポジティブとネガティブが両立している名言は例のように過酷で苦しい状況でもあきらめることなく、成長を求めるものが多い。掲載されている数は少ないが決してあきらめないプロの姿勢に感動を覚える。

最後に 37%を占めるポジティブでもネガティブでもない名言の例を挙げる。

・チャンピオンになると腹がたまるんですよ。だから、その満腹状態の選手にどうやって次の“欲”を出させるか、それがポイントになる。 桑原隆

1998 年、ジュビロ磐田の監督として鹿島アントラーズとしのぎを削った桑原隆は、1999 年シーズンに一転して 9 位にまで順位を下げた鹿島アントラーズを分析してこの名言を述べた。勝ち慣れてきた選手たちに、新たなモチベーションを植えつけるのも監督としてのしごとであることを示しており、ポジティブでもネガティブでもない名言である。

・いい上司になりたかったら、いい部下を育てる。いい部下を育てるためには、いろんな意味で動いてもらわなくてはいけない。そこでどうするかというとコミュニケーションや言葉という部分が必要になる。 高木琢也

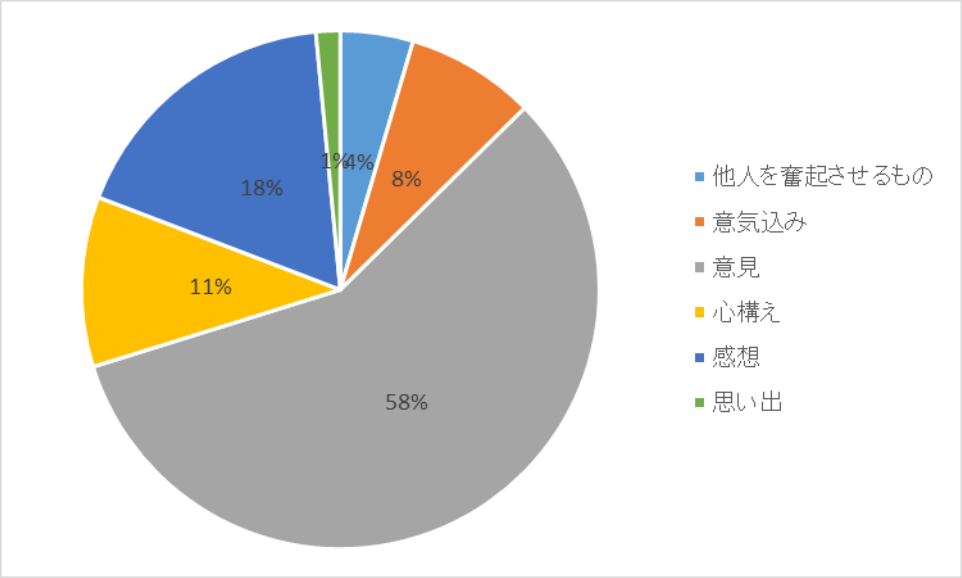
高木琢也は、2006 年に J2 横浜 FC のコーチに就任したが、開幕直後に解任された足達勇輔監督の後任として監督に就任。高木琢也は、動揺する横浜 FC の選手たちと直接対話し、自分の気持ちを率直に伝え、選手の心をひとつにまとめていった。この名言も、高木琢也の指導法を示しているもので、ポジティブでもネガティブでもない名言である。

ポジティブでもネガティブでもない名言には、個人の主義や考え方が述べられている名言が多い。またこれらの名言はサッカー以外のことにも当てはまるためサッカー未経験者でも共感できることに特徴がある。

ポジティブな名言が多いことは予想通りであった。ネガティブな名言であっても、過去の実力や成績があってそれに比べて劣っていることを述べているものが多く、高いレベルでプレーしているからこそ出てくるものであった。また、ポジティブとネガティブの両方が含まれる名言に関しては、ネガティブなことに対しそれでもあきらめずに勝利や成長を求めるものが多く、共感できるものが多かった。

第四節 名言の内容について

本節では、名言の内容を「他人を奮起させるもの」「意気込み」「意見」「心構え」「感想」「思い出」の 6 つにわけて分析した結果について述べていく。研究対象の 198 個の名言の内容のグラフは以下のとおりである。



最も多かったのは、「意見」で 58%、続いて「感想」が 18%、「心構え」が 11%、「意気込み」が 8%、「他人を奮起させるもの」が 4%、「思い出」が 1%となった。以下に例を挙げていく。

初めに挙げるのは、全体の 4%を占める「他人を奮起させるもの」である。「他人を奮起させるもの」は、特定の相手に向けられて発せられていて、やる気を引き出すものである。

日本代表に行きたかったら、ヨーロッパに行きたかったら、10～15 点は取れ。 レヴィー・クルピ

2007 年、セレッソ大阪の監督だったレヴィー・クルピは、控え選手だった香川真司の天性のゴールセンスを感じ取りトップ下に抜擢し、レギュラーで起用し続けた。レヴィー・クルピ監督は香川真司に得点のノルマを課し、才能を引き出した。その後、香川真司は、ドルトムントに移籍した。若くて控えの選手でも才能があることを見抜き、高いハードルを設定し奮起させることで、香川真司を世界的な選手に成長させたこの名言。

俺たちはもう一度、新たな歴史を創らなければならない。いまは弱いかもしれないが、お前らが歴史を創らなければいけないんだ。それだけの力が、お前らにはある。そして、誇りを持っていいだけのクラブにいるんだ。 長谷川健太

2005 年に低迷が続いた清水エスパルスの監督に就任した長谷川健太は、就任直後の所信表明演説で、熱い口調で選手たちにこの名言を発した。就任 1 年目は結果が出なかったが、2 年目は上位争いに絡んで 4 位だった。長年低迷していたチームが 2 年目に上位争いに食い込んだことからもこの名言の「他人を奮起させる」力を感じることができる。

上の二つの名言では、監督が奮起させたことにより、選手も今までより高い成績を残すことができている。名言のもつ力が最もわかりやすい内容と言える。

次に全体の 8%を占める「意気込み」の例を挙げる。「意気込み」は、あるシーズンや試合に向けての意欲や姿勢が述べられているものである。

・今季のガンバはもちろん優勝を第一に考えています。できれば三冠を狙いたい。 遠藤保仁

ガンバ大阪で迎える 2003 年シーズンに向けての発言。この 2003 年シーズンでは初めて J リーグベストイレブンを受賞するなど、名実ともにガンバの顔となったがリーグの順位は 10 位に終わった。この名言からは 2003 年シーズンにかける遠藤保仁の「意気込み」が感じられる。

・この先、オランダに行き、皆さんの期待に応えられるかどうかは、やってみなければわかりません。しかし、この僕の背中にある「世界で輝け伸二」という旗を見て、僕はやっていけるという自信がつきました。 小野伸二

浦和レッズからオランダのフェイエノールトへの移籍が決まり、移籍前ラストマッチとなった 2001 年 7 月 14 日の試合後、ホームの駒場スタジアムでサポーターが掲げた応援旗を背中に背負った小野は、オランダでの活躍を力強く誓った。世界で通用する選手になるという「意気込み」が感じられる。

上の二つは、それぞれ三冠を狙う、世界で活躍するといった非常に高いレベルの「意気込み」である。普段高いレベルで自らを追い込んでいるプロの選手の「意気込み」に感動し影響を受ける人が多くいることの理由がわかる。

次に全体の 58%を占め、最も多かった「意見」の例を挙げる。「意見」は、発言者の考えが述べられているものである。

・日本サッカーはいつまでも一般道を走っていちゃいけない。ハイウェイに乗って、早く目的地に向かって行かなければならないんだ。 ドラガン・ストイコビッチ

2008 年より名古屋グランパスの指揮を執るセルビア出身のドラガン・ストイコビッチ監督が発した名言である。世界と日本の差を肌で感じたドラガン・ストイコビッチ監督はこの考えのもと名古屋グランパスで指揮を執り、2010 年シーズン、名古屋グランパスをリーグ制覇に導いた。

・年齢は関係なくて、才能なんです。 レヴィー・クルピ

2007 年からセレッソ大阪を指揮したブラジル出身のレヴィー・クルピ監督は、香川真司や清武弘嗣の将来性をいち早く見出し、彼らの才能を開花させるためにチャンスを与えた。才能があれば、若い選手でも相応の舞台に立たせるべきだというレヴィー・クルピ監督の育成哲学が表れている名言である。

「意見」の例として二人の外国人監督の名言を挙げた。どちらの名言もそれぞれの監督の考え方が述べられており、このような名言を「意見」とした。

「感想」の名言の例を以下に挙げる。「感想」は、発言者の感情や思いが込められているものである。

・あっという間の現役生活やったなあ。最後はずっと試合に出て終わりたかったけど、思うように行かないのが自分の人生みたいやわ。 宮本恒靖

17 年間現役を続け、2011 年に引退を決意した際に残した名言である。年齢とともに試合に出る回数が減っていき引退を決意した。17 年の現役生活の感想を端的に述べている名言である。

・以前の俺ならシャルケを出る時点で直接鹿島に帰ってると思う。でも、ヨーロッパで粘ろうって思えたのはシャルケのおかげ。シャルケで気持ちが鍛えられた感じかな。 内田篤人

2010 年に鹿島アントラーズからシャルケに移籍、レギュラーに定着したが、2015 年に負傷し、リハビリ生活を余儀なくされた。2016 年 12 月に復帰を果たしたが、出場機会は増えず、2017 年夏に退団を決意した。その際、日本に戻るかヨーロッパに残るかを迷い、先輩の中村憲剛に相談するとヨーロッパに残ることを決意した。ドイツのウニオン・ベルリンに移籍するも再び負傷し、日本に戻ることを決意した。限界までヨーロッパでチャレンジできたことでヨーロッパへの未練がなくなった。けがはしたものの、シャルケで得たことに対して感想を述べる名言である。

内容が「感想」の名言では発言者の率直な感想を知ることができる。プロの選手でも我々と同じように苦しいことは苦しい、よかったことはよかったと思っていることがわかる。

「心構え」の名言の例を挙げる。「心構え」は、発言者の普段から意識していることや取り組む姿勢がわかるものである。

・勝ってきた歴史を、俺は間違いなく下の選手に伝えないといけない。 小笠原満男

2015 年シーズン、鹿島アントラーズに所属していた小笠原満男の名言。かつて常勝軍団と言われた鹿島アントラーズの強さを取り戻すために、もう一度優勝し、途切れることなく下の選手に鹿島アントラーズの強さを自身が伝えていくという姿勢がうかがえる。

・頑張り続けたら必ずいいことが待っているというのが、僕のなかにはあるんです。 那須大亮

J リーグ各クラブを渡り歩いたベテランの那須大亮が残した前向きな姿勢を表す名言。浦和レッズ時代にベンチメンバーとされても腐ることなく、チャンスを得たら死に物狂いでボールを追いかけ、頑張っていれば、いつかは道は開けるという。あきらめずに努力を続ける「心構え」がうかがえる。

内容が「心構え」の名言からは、発言者の普段の物事への取り組み方がわかる。この取り組み方はスポーツだけでなく我々の日常生活でも生かされるものである。

最後に例を挙げるのは、198 個中 3 個しかなかった「思い出」である。発言者の感情が込められているわけでなく昔あったことがそのままのべられているだけのものである。

・昔は毎週ディスコに遊びに行ってたもんね。 武田修宏

会見で武田修宏といえば遊び人のイメージがあるといわれたことに対する返事である。

内容が「思い出」の名言からは発言者の当時の様子を知ることができる。

第三章　結論と今後の課題

第一節　結論

名言を分析するにあたって様々な内容のものがあったが、今回の研究対象の中では内容が「意見」のものが最も多かった。分析をする前には「他人を奮起させるもの」が最も多くなると予想していたので意外な結果となった。理由としては第一章第二節でも述べたが、選手の「他人を奮起させるもの」が 0 だったからである。

選手と監督という立場の違いにおける名言の差も確認することができたが、比較的個人のことを短期的に考えてプレーすればいい選手と中長期的にチームや選手を育成していく責任がある監督との考え方の差が影響していると考えられる。

J リーグの外国人の名言は、日本の方がサッカーのレベルが低いこともあり、ネガティブさが日本に向けられたものであることが多かったが、出身によるポジティブかネガティブかの名言の数の差がほとんどなかったのは意外だった。

名言のポジティブさネガティブさに関しては、予想通りポジティブなものが多かった。ネガティブなものも途中であきらめたり熱意がなくなったりするというものではなく、昔の高いレベルでプレーできないことに対する戸惑いや悔しさからくるものが多く、サッカーに対するプライドを感じ、名言となっていることに納得するものであった。

第二節　今後の課題

今回はサッカーの中でも J リーグに絞って分析したので、海外のチームでプレーする選手の名言や、日本代表の選手の名言などは取り扱うことができなかった。また、種目もサッカーで絞ったので、他の球技と比較して、同じ球技間でも名言の表現特性に違いがあるのかを分析することができなかった。そして、今回は名言の表現特性に着目したが、アンケートなどをとることで共感できる名言がどれかなどを分析してもおもしろいと感じた。これからも名言に限らず人の発言に対して敏感になっていきたい。

終章　終わりに

今回卒論を書くににあたって、なかなか書き上げることができず苦しい思いをしたが、何とか書き上げることができた。

題材に名言を選んだことで名言の奥の深さを知ることができた。発言時の発言者の状況や、今までの経験によってありきたりな言葉でも名言になりうると感じたのでそのような濃い経験が多くある人生を送っていきたい。

最後になりますがこんな私を指導していただいた野浪先生、ほんとうにありがとうございました。

参考文献

『Number Web』（2021 年 1 月 29 日最終閲覧）
Number Web - スポーツ総合雑誌ナンバー（bunshun.jp）

J リーグ公式サイト（2021 年 1 月 29 日最終閲覧）
【公式】J リーグ公式サイト（J.LEAGUE.jp）